

F Mアップルウェーブ 第117回放送番組審議会

開催日時	令和元年10月5日(土) 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)
出席委員	副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、 渋谷 拓弥、高村 智子、大西 晶子、櫻山 史子、佐々木 裕和、鹿内 あかり
会社側出席者	専務取締役: 一戸 勝美、取締役: 倉田 正直 放送部総括マネージャー: 花田 由香子、チーフ: 玉田 雅規
議 題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 12月16日(月)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 フライデー☆SMASH内コーナー『フライデージャーナル』</p> <ol style="list-style-type: none">① 二人のやりとりが少しゆるい。あー、えー、あのー、が多い。金曜日の夕方という時間帯を考えれば多少ゆるいくらいでも聴きやすいかも、とも思った。② 弘前市で起きていること、問題になっていることを取り上げるのは、市民が知るべき内容なので、時間帯や長さなど含めてよいと思った。知らないまま終わってしまうような内容を聴けるのはいい。③ 一つ的话题を15分で取り上げているが、わかりやすく、長さもちょうどいい。市長の肉声コメントがあったり、体験談をかたったりというのはリアルに感じられている。④ 自分たちが考えるべき身近な問題を問題提起という形で取り上げているのがいい。長尾記者のやわらかい話口調は、かたい話でも耳に入りやすい。市長の音声も原稿を読んでいるのがわかってしまった。話し方に意識がいく。話題によってたどたどしさが出ている。⑤ ベテラン二人のやり取りは聴きやすい。咳払いが入っていたので、カフがないならミキサーでコントロールすべき。専門用語を誤って話していたので、しっかり勉強したうえで取り扱ってほしい。経過中の問題を取り上げているので、結末まで追いかけて伝えてほしい。⑥ 実際に動いて取材したネタと、記事等を拾って紹介しているネタとで話し方にも差が出てしまっていた。落とすどころが決まっているのか、二人が同調する場面ばかりだったが、様々な意見もあるので、二人の意見が対立するような場面があってもよいのでは。⑦ 面白い番組。口ごもってしまう場面があったが言えないようなことがあったのかと思ってしまう。弘前でおきていること、税金の使われ方という市民が知るべき、考えるべき内容、新聞だと小さい記事で終わるような内容でも15分かけて紹介しているのはわかりやすくいい。⑧ 言葉の使い方に注意。「…ね!」という、相槌というより二人が目で合図をしているような場面があってはならない。税金の使い方に関して市民の共通認識を番組で取り上げることでどう持ってもらえるか、チェック機能を果たすような役割もあるのではないか <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布2) FMアップルウェーブのホームページに掲載